

2022 年 第 4 回 計測会役員会 議事メモ

- ・日時: 2022 年 12 月 13 日 17:30~19:15 ZOOMにて実施
- ・出席者: 寺倉会長、大鹿、守田、西村、大鑄、小川、坂尾、小澤、米谷、伊藤、野村(記)

[議 題]

1. 運営協力金の状況
2. 2022 年の振り返り
3. 計測会のしおりについて
4. 名古屋工業会・単科会連携会議の報告
5. 名古屋工業会代議員候補の選出
6. 「ごきそ」への投稿について
7. 理工学科応用物理分野学生への貢献について
8. その他

[配布資料]

- ①役員会議題
- ②工業会・単科会連携会議 出席報告

[議事内容]

1. 運営協力金の状況

運営協力金の振込み状況を以下の通り報告。

- ・11/22 以降の振込は無く、12/11 時点で振込者数 85 名、振込口数 466 口

【課題】使い道を計測会賞、学生貢献とつしよに議論する必要がある。

振込者に対して、今月中に寺倉会長からお礼のメールを出す。

2. 2022 年の振り返り

(1)会則の改定 (6 月 15 日)

- ・理工学科応用物理分野卒業生に関する規定を追加した。

【課題】役員の任命手続き、メンバー数の規定等、表現を見直す点があるが、喫緊の課題ではない。

(2)メールマガジンの発行、HP の設置。

- ・メールマガジンは 4 月、7 月、10 月に発行
 - ・ホームページを立ち上げて 1 年経過したが、継続的にコンテンツを増やせている。
- 他の単科会の HP と比較しても遜色ないのではないかな。

(3)総会・講演会を対面+ZOOM で実施 (10 月 1 日)

- ・事前テストを 3 回実施したこともあり、本番ではトラブル無く上手く実施できた。

(4)運営協力金を募った(10 月)

- ・1 項で記したが、予想以上に多くの方からの振込があった。来年はどうするか?

(5)計測会の通帳

- ・オンラインで参照できるようにした。

3. 計測会のしおりについて

3 月の卒業式のタイミングで、応用物理分野の学生に計測会のしおりを配布し、計測会の紹介と入会(メールアドレス登録)を促す。そのためしおりを新規作成する。

イメージとしては、

- ・A3 一枚を 2 つ折り。計測会のメールアドレスと HP の QR コードを印刷しておき

配布したその場で氏名とメールアドレスを計測会へメール送信をお願いする。

・応用物理分野を卒業した大学院生は、既に計測会員になっているので、大学生にも配布し、メールアドレス登録をお願いする。

・応用物理分野の教員へも配布する。

【今後の予定】

・しおりの素案を作成し、年明け早々に役員へメール配布し、意見を出し合い、その後のプロセスを決める。

4. 名古屋工業会・単科会連携会議の報告

・配布資料②の通り、9月28日に第一回の会議が開催された。

各単科会から1.2名が出席。計測会からは寺倉会長と野村が出席。

・工業会としては、全学同窓会に向けて単科会との連携を強化したい思いがある。

・今回は、きちっとした議題はなく、メンバーの顔合わせと意見交換が中心。

5. 名古屋工業会の代議員候補選出について

工業会の名古屋支部から本部に対して、2023年度と2024年度の代議員候補者を25名出す必要があり、名古屋支部から各単科会に対して、従来通りの割り振りで候補者を出すよう要請があった。

計測会への割り振りは3名。

6. 「ごきそ」への投稿について

・3-4月号に、計測会総会・講演会報告(計測会報の内容)と福澤さんの講演録が掲載予定。

現在、原稿を校正中。

・先日のOB・OGトップセミナーでの小島社長の講演に関連した記事を投稿準備中。

掲載時期は未定。

7. 物理工学科応用物理分野学生への貢献について意見交換

どのような貢献ができるか、意見交換を行った。

以下の案が出された。

・学会等への出張旅費 ・本、専門書、資料等の購入費 ・研究室の備品代(コーヒーマーカー等)
予算としては年間20万円程度と思われる。

課題、留意点、要確認事項

・経理処理的に現金を渡す手段があるか。

・海外出張の場合、一回で数十万円オーダーかかる。

・応用物理分野の図書室は無い。

・現金を渡す相手をどう選定するのか。こちらでの選定は難しい。先着順か。研究室へ順繰りで渡すか。広く薄く配布すると効果が薄れる。

今後も審議を継続するが、何を実行するかは、できれば次回の役員会で定める。

8. その他

・東京支部総会が11月に行われた。

対面でアルコール無しでの実施であったが、それなりに楽しく行えた。

次回の役員会は2月に実施する。対面での実施も視野に入れる。

以 上